

2015年度 大分市スポーツ少年団 ミニバスケットボール 《4年生大会》 要項 (案)

1 趣旨

本大会を通して、試合に出る機会の少ない4年生以下の技術・体力の向上や少年団員としてのマナーの向上を図るとともに、健全な心身の育成に努める。

2 主催

大分市スポーツ少年団・大分市ミニバスケットボール連盟

3 期日及び会場

期日 10月24日(土)・25日(日)

会場 24日(土) 津留小・鶴崎小

25日(日) 明治小

4 日程

※開会式・開始式はありません。

8:45～ 指導者ミーティング

9:00～ 試合

各会場試合終了後表彰式

5 参加資格

(1)スポーツ少年団本部に登録されたチームで、小学校4年生以下で編成されたチームであること。

(2)スポーツ傷害保険に加入していること。

(3)チームの人数が8人に満たない場合でも参加を認める。

6 参加人員

チーム責任者1名、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名と選手15名以内の19名とする。

7 参加料

1チーム 2000円

8 競技方法

男子・女子・混合パートに分かれてのリンクリーグ方式。各チーム2試合ずつ行う。

9 競技規則

(1)ベンチは、日程表上の左記記載のチームがオフィシャル席に向かって右側ユニフォームは、原則として淡色を使用する。

(2)ベンチには、選手15名以下、チーム責任者1名、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名とする。

ただし、ベンチ総人数19名以内での5、6年生(補助、応援者)のベンチ入りを認める。

(3)試合時間は、4分-(1分)-4分-(3分のハーフタイム)-4分-(1分)-4分とする。試合間は最低8分間とる。))

(4)メンバー表は、前試合終了後直ちにオフィシャル席に提出する。

(5)第1、第2、第3、第4クォーターに出場するメンバーは、審判が1分前の合図したら、直ちにオフィシャルに報告する。

(6)3秒ルール、30秒ルールは適用しない。

(7)同点の場合、延長戦は行わない。

ただし、両チーム5本のフリースローを行い、下記条件にて勝敗を決める。

1)じゃんけんに勝った主将のチームが、どちらが先に行くか決める。

2)フリースローは、交互に行う。

3)5本のフリースローを行い同点の場合は、サドンデス方式で勝敗を決める。

4) 一度フリースローを行なった者は、チーム全員が打ち終わるまで、再び打つことは出来ない。

(8) 混合の部は5人以上であれば参加できる。8人未満男子、8人未満女子の参加を認める。

(9) 男女混合でも5人未満の場合は他チームとの合同参加を認める。

(10) 男子・女子の部は8人以上であれば参加できる。その場合8人が1Qは出場し、4Qすべてに出場することのないようにする。

(11) 全ての試合の勝敗はスコアどおりとする。

(12) その他の規則については、現行の日本ミニバスケットボール競技規則に準ずる。

10 表彰 2勝したチームに賞状を授与する。

11 注意

(1) “来たときよりも美しく” 弁当のから、ごみは各団で持ち帰る。

(2) 体育館内での飲食は、厳禁。

(3) 体育館シューズと外履きの区別をする。

(4) 解散するまで子どもにジュースやお菓子を与えない。

(5) 試合中は、スポーツ少年団員らしくマナーを守り、正々堂々とプレーをするように指導する。

(6) ベンチや応援席では、審判及び相手チームに失礼のないように心がける。

(フリースローの時は静かにする 退場する選手への態度)。

(7) 試合後は、全チームで片づけをする。

(8) 各チームは、「駐車票」を車の見えるところに置いていく。各チーム5台を厳守する。また、駐車場入口にて駐車券の提示を求められた際は、必ず駐車券を提示すること。駐車係に従わない場合は、駐車を断ることもありうる。

12 その他

○各チームの指導者は、自分のチームの試合がない場合でも審判割り当ての都合上1試合目から参加する。

○審判、オフィシャルの割り当てを確認し、もし不都合の場合は必ず連絡する。

○公共物の使い方を十分団で指導しておく。

閉会式

【各会場共通】

進行 (厚生部)

1 はじめの言葉

(司 会)

2 成績発表

(競技部)

3 表彰

(筒井会長 他大分市ミニ連役員)

4 講評

(筒井会長 他大分市ミニ連役員)

5 終わりの言葉

(司 会)

※各会場にて、対応をお願いします。